

平成30年7月26・8月7日実施

「親子で学ぼう！読書感想文」保護者プログラムの様子

講師：福地 朋子さん

(一般社団法人教育コミュニケーション協会 キッズ作文トレーナー)



【講座のはじめ】

★今日の講座は、「子どもが自分の意見や感情を言葉にすることができるようになる」ために、大人がその引き出し方を知ることが目的とされています。

【今日の目的】

- ・大人→意見や感情を引き出す
- ・子ども→言葉で言えるようになる。

【子どもの気持ちを引き出すために】

★ルールに則れば、誰でもわかりやすく説明できます。

自分の意見や感情をうまく伝えられるのか、どんな子でしょうか？頭がいい子でしょうか、それとも、しっかりしている子でしょうか？いいえ、違います。ルールに則れば、誰でも、わかりやすく説明できるようになります！

★子どもの「教えたて！」という気持ちを大事にします。

大人の質問に対して、子どもの答えが「正しい答え」でないとき、「そうじゃない！」と、その考えを否定していませんか？

大事にしたいのは、子どもの「教えたて！」という気持ちです。「教えたて！」は伝える原動力になります。それを引き出すには、大人の「聞きたい」という姿勢が大切です。

★子どもが読書感想文の宿題をする際には、「感想」を聞くのではなく、「教えたてと思ったところ」を聞いてみてください

★「説明力」はセンスではなく、科学です。わかりやすく説明する公式が必ず存在します。

★わかりやすく伝える「説明力」を磨けば、物事の本質を捉える力が身につきます。そして、自分で考えて、判断ができる、「生きる力」が育つのです。



【大人も作文を書いてみよう！】

★では、大人も作文を書いてみましょう。作文のテーマは「うちの子のいいところ」です！ワークシートの中身は、子どもたちが書いているものと同じです。子どもたちが書いているものを、ぜひ体験してみましょう！

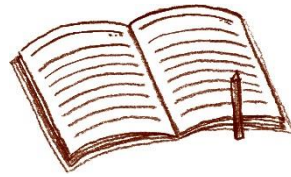
★このワークシートは「意見や感情を引き出す7つの質問」をベースに作ってあります。気持ちを先に聞き、後で事実関係を聞くという順番になっていて、この順番は承認欲求が満たされる順番になっています。5W1Hから聞くと、気持ちは出にくくなります。

★忘れてはならない大人の心構えが「ダメ出しをしない」ということです。7つの質問の答えは、その子だけの経験に基づくものだからです。その答えに間違いはないし、正解もありません。ほめポイントは、自分の考えや気持ちがどれだけ表現できたか、ということなのです。



【最後に】

★子どもたちも、がんばってワークシートを書いたと思います。まずは読んでみて、自分の気持ちが表現できていることをほめてあげてくださいね。



♡アンケートより♡

- ・子どもの付き添い感覚できたのですが、親の私が講座のお話の中で、勉強させられました。もっと子どもの話を聞こう！と改めて思いました。
- ・子供の気持ちを否定しないこと、ダメ出ししないことなど、自分の反省点がたくさんありました。もっと子供を認めてあげないといけないなと考えさせられる講座でした。
- ・作文だけでなく、根本的な「子供が意見を言えるように」ができる子に、それが分かりやすく、とても子育ての勉強になりました。
- ・自分の子供のことを文章にしたのは初めてです。子供にも聞かせたいと思いました。また、久々の文章ですが、とても書き易かったです。小4の娘ですが、話すのもゆっくり、何の話？！のタイプなので、とても参考になりました！高1の娘の進路についても参考になりそうです。